

人材育成プログラムに基づく取組と、林業事業体が策定した将来ビジョンに基づくPDCA等を基軸に、林業生産管理システム等の生産対策と多様な人材に対応した担い手対策に対して、各林業事業体が提案する課題解決等の取組を支援
(事業主体：産地計画を策定した林業事業体 *1 及び、その事業体の取組をバックアップする林業関係団体 *2)

将来ビジョン実行

10年後の将来像(ビジョン)と具体的な事業計画「産地計画(プラン)」の実行支援

・経営理念、経営ビジョン、職員の行動規範等の取組実行

《具体例》

- 経営コンサルタント等によるPDCA支援 将来ビジョンのフォローアップ (経営分析等取組支援)
- 人材育成プログラム研修受講支援
- 人材育成取組支援 (先進地視察・研修受講)
- 「産地計画」の実行、さらなるステップアップを目指した10年後の将来ビジョン(計画)の実行への支援 など

生産対策

スマート林業技術の導入による林業イノベーションの促進支援

・スマート林業・ICT等による事業の効率化

・事務作業のシステム化

・現場の連携(協力)体制強化

・その他独自の取組

《具体例》

- 生産管理システム等の導入
- 作業日報システムの導入
- GIS、GISS、無線等の活用
- ICT・DX等の活用
- 繊維ロープ、高出力センサー等作業効率化資機材の導入
- 事業体の課題解決に向けた独自の取組 など

担い手対策

女性や外国人等の多様な人材の確保・育成、働き続けられる環境整備推進支援

・多様な人材の確保・育成

・快適な就労環境の形成

・技能向上支援

・労働安全衛生の確保

・その他独自の取組

《具体例》

- 女性や外国人等の就業体制整備調整業務
- 多様な人材に対応した就労環境整備
- 安全・快適装備の導入
- 特殊健康診断、メンタルヘルス
- 技能検定・各種研修受講
- 事業体の課題解決に向けた独自の取組 など

+ 高性能林業機リース

高性能林業機械・スマート林業機械のリースに対する支援

・効率的な作業システムの構築

・作業システムの改善

・新たな機械導入による作業効率化に向けた試験

《具体例》

- フェラーバンチャザウルスロボ、スイングヤーダ、フォワーダ、プロセッサ、ハーベスタ等
- 原木品質判定機能付きハーベスタ、多目的造林機械、リモコン式地植え機等スマート林業機械 など

《補助率および補助上限額》

○補助率：1/2以内

○事業体：現場技能者の直接雇用人数で上限金額決定

1～10名：200万円	11～30名：250万円
31～60名：300万円	61～100名：350万円

林業関係団体：250万円
(女性・外国人材に関する取組事業体は上記の上限に50万円増額)

※高性能林業機械リースは別枠：上限300万円
(意欲と能力のある林業経営体は上限350万円)

※他に国費等により実施可能なものは原則、補助対象外
※補助対象経費は、当事業実施要領を参照

*1 支援の対象は、原則として、将来ビジョン策定事業体はそれに記載された内容、未策定事業体は産地計画の記載内容、及び人材育成プログラムに基づく取り組みとする。

*2 上記取組をバックアップする林業関係団体

・上記取組を行う複数組織を効率的かつ体系的にバックアップする場合、その必要経費について支援

《具体例》

- ICT化、情報共有システム等の取組、複数団体の総合的なコーディネート

「経営理念・将来ビジョン」に基づき、魅力ある林業事業体を目指してステップアップしていく取組を支援！

